

松戸ロータリークラブ会報

第2695回 例会

No.2694

2011年10月12日発行



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度 国際ロータリーテーマ

■ 本日のプログラム

2011年10月12日(水)

卓話「ガバナー補佐の役割から感じること」
国際ロータリー第2790地区 第12分区ガバナー補佐
安井克一 会員
第2790地区第12分区情報研究会

『四つのテスト』 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

■ 次回のプログラム

2011年10月19日(水)

卓話「米山記念奨学会について」
山田達郎 会員
「日本の研究について」
米山奨学生 劉薇 様

『THE 4-WAY TEST』 Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

●例会日 毎週水曜 12:30~1:30
●例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
●事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

●会長 常盤 映彦
●会長レク ト 加藤 栄
●副会長 島村 俊充
●幹事 中澤 雅彦
●会計 猪股 貴久
●会報委員 橋口 和幸 中田智次郎 松田 茂一
小林 登 田原 晨暁 杉浦 章浩
鈴木 昌広 車田 善教 浅井 利明
飛田 勤

●第2790地区ガバナー 山田 修平 (木更津東RC)

THE ROTARY CLUB OF MATSUDO 松戸ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区 創立:昭和31年11月14日 RI承認:昭和31年12月17日

「職業奉仕について」

職業奉仕委員会

中山政明 委員長



皆さん今日は、今月は職業奉仕月間ということで、森田プログラム委員長より、職業奉仕について話すようにとの依頼がありましたので、貴重な卓話の時間を拝借いたします。

職業奉仕に対する理解度が高いと言われる2790地区といわれますがその中でも特に職業奉仕を良く勉強している松戸クラブの皆さんといわれています。

昨年の伊原会長、土屋職業奉仕委員長のもと、ロータリーの言うところの職業奉仕については、ある程度理解できた事と思います。職業奉仕は「自分の職業に一所懸命精出す」と言う意味ではなく「自分の職業は社会に奉仕する機会、手段として存在する、従ってそういう使命感の元に職業に精魂を打ち込む」、そしてあくまでも職業の道德水準を高めることでありロータリアンとして慈善事業や金銭的な寄付は第一義の仕事とは言えないと思われまます。

さて、今日は今や中国大陸のみに偏りがちな、日本政府、マスメディア、大陸に遠慮して、報道をひかえているかにも見える台湾における日本人の職業奉仕についてお話いたします。今回の大震災に世界一番の多額の義援金が台湾から日本に送られたのはなぜでしょうか？経済規模人口の多さからは考えられません。

過去の歴史のなかの多くの日本人にたいする敬愛の念がそのなかにあるとおもえてなりません。その1人に八田与一さんの烏山頭ダム建設に対する技師としての職業奉仕、建設工事における現地人と日本人労働者とのわけ隔てのない対応、その

資質の向上に努力、その結果、三百数十名の工事殉職者を出しながらも華南大洲、万里の長城よりも長い水路を持つ灌漑用水を完成させ、農産物収穫量を10倍に増やすことができ、農民を豊かにすることとなり、いまでも戦時中の徴用を免れた、(これも現地の農民が倉庫にかくしていた)八田与一の銅像がのこされ、丁寧に管理されておりました。

もうひとり最近になり、私も知りませんでした、歴史にのらぬ日本人の職業軍人のお話を浅井会員のおかげで知ることが出来ました。

その人は根本博という福島県須賀川出身の終戦時陸軍中将であります。

終戦の8月15日駐蒙軍司令官の彼は、満州における関東軍が8月9日ソ連軍の猛烈な侵攻に耐え切れず、日本人居留民も省みず、ハルビン大連までの総退却の命令を下した関東軍司令部の動きに対し、根本中将率いる駐蒙軍はソ連軍の攻撃に終戦までたえ、8月の15日をむかえ、関東軍をはじめ、北支派遣軍のほとんどが武装解除をしたが、根本中将の率いる、35万の兵と、4万人に及ぶ日本人居留民を、ソ連軍から守るため、武装解除を受けるべき相手である傅作義將軍(蒋介石軍)に対し遺書を書いた、自分が死んだ後、在留邦人と部下将兵たちを無事、故国日本に返してくれるよう後事を託すものでした、そう意を決すると「邦人の命を守る」という最大使命を果たすためには、たとえ上層部からの絶対の「武装解除命令」であろうと、従うわけにはいかない、という決意を固めていた。ソ連に駐在武官として派遣された経験から、根本に貫かれたヒューマンイズムの精神がソ連に対する武装解除を許すことが出来なかった、支那派遣軍総司令部はソ連に対し戦闘停止及び武器引渡しを厳命してきたが、根本は「日本人の生命財産を保護すべきも 若し延安軍 又は外蒙「ソ」軍等に渡すならばその約束は守る能はず、と打電し、その責任は自分1人にありと部下につたえ、全軍にソ連との戦闘を命じたのである。戦後8月21日まで戦闘しソ連軍を撃退し、邦人を北京、天津まで避難に成功したのであります。

その後国府軍の武装解除におうじ、在留邦人の内地帰還は勿論、北支那方面35万の将兵の復員を

昭和20年11月から始まり昭和21年7月までに概ね終了し根本中将は8月に日本に帰還しました。

蒋介石の根本司令官に対する態度は、戦勝国代表の驕りは微塵も感じられなかった、自ら北支那方面軍のトップとしての戦争責任をとろうとする根本に、蒋介石は「戦争である以上罪は双方ともが犯している、だが、連合国からの強い要請もあるので、戦争意外のことで最も悪質なことをやった者だけにしぼって、戦犯として処理したい。」

中国側の責任者についても、その点十分の注意を与えているつもりだが、日本側に不満があれば遠慮なく申しでてください」蒋介石の「日本の恨みは買いたくない」という言葉はある意味リアルな表現であり、この時、世界中が固唾を呑んで中国での「国共内戦」の行方を見守っていた。

根本は蒋介石に対し「東亜の平和のため、そして閣下のために、私でお役に立つことがあればいつでも馳せ参じます」根本はそう約束して蒋介石のもとを辞した。そのとき根本の心に満ちていたのは、蒋介石への感謝の念だった北京を発つ時、特別列車が仕立てられ、根本は最高司令官の礼をもって見送られました。国民政府側の根本に対する敬意の大きさが窺えるエピソードです。

根本が帰郷した1947年の8月になると、ソ連軍の全面支援を受ける毛沢東率いる共産軍が次第に勢力を拡大、旧満州、現在の中国東北地方における共産軍の攻勢から徐々に形成が逆転していきました。

アメリカの中国における国共内戦の認識の甘さから、蒋介石軍は劣勢となり敗走を続けていた。1949年4月台湾からある青年根本の家を尋ねてきた、それは、終戦時遺書をしたため渡すべき国府軍側の傅作義將軍の使いとしての「国民党の密使」であることに、驚いた。ぜひとも根本の力を借りたいとあり、GHQ占領下で海を渡るということは大変危険を伴うだろう、然し、中国が共産化され、台湾がさらにその手に落ちることは、日本に及ぼす影響も大きくおもえた。昭和24年5月8日朝小さな漁船で台湾に、密航のプロジェクトが始まる、根本は釣竿と少々の着替えを持って、自宅をでた、このとき家族に台湾へ行くが誰にも話すなと厳命している。

7月10日に非常に厳しい目に会いながら台湾に到着、8月18日軍事顧問將軍閣下として、戦地の金門島へ向かう、鄭成功（ティセイコウ）がオランダの支配から台湾を解放したとき金門に本拠を置いた、ことも根本は理解していた。

根本の総指揮の下10月26日猛攻撃により金門島での国府軍の大勝利となり、最短で僅か2キロしか離れていない海峡を挟んでしかない、金門島は、60年をえた現在も台湾領であり台湾海峡も中華人民共和国の「内海」にはなっていない。中華人民共和国と中華民国という二つの国が対峙するアジアの国境はかくして確定された。

しかし根本の存在は国府軍にとっても極秘中の極秘だった。然しその功績を最も評価し、わかっていた人は蒋介石でした。

終戦時、蒙古在住4万人の邦人と北邦派遣軍35万将兵の命を繋いでくれたことに対する恩義を忘れず、自分の職業軍人としての奉仕がむくいられたのであります。

この台湾における、戦前、戦後にわたるこの2人の、献身的職業奉仕は今日では台湾の人々のごく一部の人しか知らない時代かもしれませんが、今回の震災の義援金の多さは台湾人の人々日本人の地味な先人達の足跡を認めていただいている、ということかも知りません。

自分の職業に自信をもち、忠実であり、恩義に報いる、努力をかさねる大事さを教えているのではないのでしょうか。

この話は人それぞれの受け方があるかもしれませんが、ロータリーの言う「職業奉仕」について、の例としてとりあげてみました。

職業奉仕月間のロータリーの友に記載されております、黒田正宏RI職業奉仕委員長の職業奉仕に力を注ぐ、と甲府RCの高野本男様の記事と、「四つのテスト」をお読みください。ぜひ今月はお自分の職業奉仕についての思いを磨いていただければさいわいです。

ご静聴有難うございました。





会長挨拶

常盤映彦 会長



こんにちは。

今日は冷たい雨が降って気温も上がりません。明日回復に向かうようですが体調にお気を付けください。

此のたびの震災による原発事故避難者の市立松戸高校在籍生徒より、奨学金願いが提出されました。本日の理事会にて審議頂き支給したいと思えます。

前回お話しできなかった、旧竹田宮家の子孫で明治天皇陛下の曾孫に当る方の講演の話をいたします。

今回大震災で大きな被害を受けました。復興に向けこれから国民挙って努力しなければなりません。氏は先の大戦の敗戦より驚異的な復興を遂げたわが国の力は、その国民性によるものであると言います。

国民性を形成するものは三つの要素があり、「歴史観」「自然観」そして「死生観」であり、現在危惧されるのは歴史観である。

今の教育はわが国の歴史を正しく教えていない。どこの国の国民も建国のこと国がどのように建てられたかは皆知っているが、日本の若い人は果たしてどうか。神武天皇が橿原宮に即位され大和の国を建てられてより2671年になりますが、御存知ですか。

わが国の歴史に誇りを持てるような教育が必要である。

自然観については、自然は八百万の神と同義であり、恵みを与え共生していくものです。

死生観については、生のうち労働について、キリスト教ではアダムとイブが禁断の果実を食べて、エデンの園を追われ、その罰として自分の糧は自ら働いてえることになった。バツですから労

働時間が終われば、仕事のことは考えない。日本で残業をして、帰りに居酒屋によってまだ仕事の話をしている。バツではなく良い仕事をすることは幸せなこと感じている。

そういう国民性を持っている限りは日本は必ず立ち直る。

不景気のなかで、復興について悲観的な意見もありますが、ヨーロッパやアメリカは震災も事故もないのに危機的状況です。

いろいろ話しをしておられましたが、日本の復興についてはそのようなお話でした。

第4回 理事会報告

- 1号議案 2012年5月23日(水) 移動例会の件
原案通り承認。
- 2号議案 献血粗品の件
原案通り承認。
- 3号議案 55周年事業の件
松戸RC全会員より会費1万円。継続審議。
- 4号議案 被災者支援の件
常盤会長より説明。継続審議
- 5号議案 松戸市立松戸高等学校清水葉月さん奨学金支給の件
原案通り承認。
- 6号議案 10月12日例会プログラムの件
原案通り承認。
- 7号議案 松戸駅周辺放射線量掲示の件
平松委員長より説明。見合わせ。
- 報告事項 2011-2012年度大川会員出席義務免除。

幹 事 報 告



中澤雅彦 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内

本日例会終了後、理事会がございます。該当する役員の方はご出席願います。

次週10月12日の例会は、松戸商工会館5階大会議室にて開催されますので、ご注意願います。

尚、同会場にて14:00～16:30よりロータリー情報研究会が開催されます。

講師には国際ロータリー第2800地区パストガバナー藤川亨胤氏(鶴岡RC)をお招きしてロータリーの理念の本質に触れる講演をしていただきます。

参加対象者は、5クラブ会員全員です。

各クラブ70%以上の出席、入会3年未満会員は全員出席との要請がきておりますので、多くの会員の皆様の出席をお願い致します。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

10月7日(金)、18:00より東漸寺にて12分区会長・幹事会が開催されます。

松戸市国際文化祭の案内が届いております。

10月29日(土) 10:00～15:40、松戸市民会館にて開催されます。

「地区クラブ研修セミナーのご案内」がとどいております。

12月10日(土) 13:00～16:30、千葉市商工会議所ホールにて開催されます。

「ガバナー月信への投稿のお願い」が届いております。

家族月間にちなんだ活動がございましたら原稿と写真数点を提出下さい。テーマ自由。提出期限10月25日(火)。

「ロータリーの友」への投稿依頼が届いております。12月号、「家族月間」に関する特集記事。

テーマ「私の家族」、家族と一緒にの写真(ペット可)、コメント文100字程度、提出期限10月27日(木)。

松戸まつりより協賛のお礼状が届いております。

3. 他クラブ会報・その他

活動計画書と会報が銚子RCより届いております。

4 例会変更の連絡

・松戸中央RC

10月13日(木)は10月12日(水)の第12分区ロータリー情報研究会に振替

点鐘 14:00

場所 松戸商工会議所 5F 大会議室

5 その他

特にありません。

お 祝 い



【入会】森田 力君
昭和52年10月5日(34年)



【入会】齋藤重久君
平成3年10月2日(20年)



【誕生】下田由起男君 1日



【誕生】田原晨暁君 19日



【結婚】山田ご夫妻 9日



【結婚】橋口ご夫妻 10日



【結婚】齋藤ご夫妻 16日



ご夫人誕生日 島村 圭子様 24日(島村俊充夫人)

杉浦貴美子様 30日(杉浦 裕夫人)

平松 裕子様 30日

結婚記念日 加納 ご夫妻 4日

湯本 ご夫妻 28日

例 会 報 告



澤田会員



安井会員



橋口会員



[出席報告]

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席39名	義務会員33名	免除会員 6名
仮欠13名	義務会員10名	免除会員 3名

[欠席者]

草野 進君	島村 善行君	加藤 栄君
大川 吉美君	川並 芳純君	湯本 高之君
土肥伸一郎君	浅井 利明君	飛田 勤君
猪股 貴久君		

[M U]

中山 政明君	野田 R C	10月 3日
土屋 亮平君	市川 R C	9月22日
安井 克一君	松戸北 R C	10月 4日

本日出席率 79.59%

ニコニコBOX

森田 力君 / 入会記念ありがとうございます。大分人間も古くなりました。今後共よろしく。

杉浦 裕君 / 何才になったかわかりませんが、私は58才位になったのかなと思っています。

加納清輝君 / 家内の誕生日祝いにお花を御送りいただきまして、有難うございます。

斎藤重久君 / 10月16日の結婚記念日と入会記念祝い、ありがとうございました。

常盤映彦君 / 松戸神社の表参道改修に際しましては会員各位にご奉賛戴き、又29日の奉祝祭にもご参列ご協力を賜りました。深謝申し上げます。

島村俊充君 / 妻の誕生日祝いをいただきありがとうございました。毎年ですが、楽しみに待っているようです。

橋口和幸君 / 結婚記念お祝いありがとうございました。

下田由起男君 / 10月1日で、55才になりました。GO、GO!!です。

田原晨暁君 / 47才の誕生日です。最近老眼の進捗が早くて年を感じさせられています。お祝いありがとうございます。合掌。

山田達郎君 / おかげ様で結婚して18年になりました。感謝です。

ニコニコBOX	当日 ¥65,000	累計 ¥ 359,000
財 団BOX	当日 ¥ 3,502	累計 ¥ 49,204

文責 / 橋口

